

第 2 1 回都区のあり方検討委員会幹事会 会議概要

日 時 平成 2 1 年 6 月 2 9 日 (月) 午後 4 時 3 0 分から
場 所 東京区政会館 192 会議室
出席者 都側：中田総務局長、笠井行政部長、和賀井行政改革推進部長、
森山地方分権推進室長、真田主計部長、
塩見都区制度改革担当部長、西村区政課長
区側：山崎墨田区長、武井港区長、濱野品川区長、
大山千代田区副区長、水島豊島区副区長、
清正北区政策経営部長、志賀特別区長会事務局次長

会議の概要

○第 2 0 回都区のあり方検討委員会幹事会議事要旨の確認

○都区のあり方検討委員会の委員の異動について

特別区長会の役員改選及び副知事の就退任に伴う都区のあり方検討委員会委員の異動について、委員名簿で確認を行った（新会長は、菅原副知事）。

<資料>

- ・【資料 1】 都区のあり方検討委員会委員名簿

○具体的な事務配分の検討について

「食品衛生に関する事務（花き市場を除く）」など 1 3 項目について、都区双方の考え方が示され議論が行われた。

今回検討した事務のうち、都区の評価が分かれた「食品衛生に関する事務（花き市場を除く）」など 8 項目については、「移管の是非を引続き検討する事務」として整理された。

「狂犬病予防員の設置、犬の登録、犬の捕獲などの事務」など 2 項目については、「区に移管する方向で検討する事務」として整理された。

それ以外の、都区の評価が「都」ということで一致した 3 項目については、「都に残す方向で検討する事務」として整理することとなった。

<資料>

- ・【資料 2】 検討対象事務総括表（平成 2 1 年 6 月幹事会分）
- ・【資料 3】 検討対象事務評価シート

○都区制度・分権改革関連の動き等について

都側から、都区制度に関して都が行った調査研究の内容の一部と、地方制度調査会の答申について情報提供があった。

<資料>

- ・【都側資料1】特別区の区域の沿革について
—「都と区の制度的変遷に関する調査研究」より—
- ・【都側資料2】今後の基礎自治体及び監査・議会制度のあり方に関する答申について
(平成21年6月16日 地方制度調査会)

○その他

都側から、任意共管事務の検討について事務局で調整中であるが、8月の幹事会での検討開始は難しい状況にあり、今後の調整内容を踏まえ、次回の幹事会で報告する旨の説明があった。

なお、会議での発言等につきましては、後日議事要旨を作成しお知らせします。